

令和8年度 学校経営計画書

石川県立金沢辰巳丘高等学校

校長 谷口 雅一

1 教育目標 真理を探究し、知性高く人間性豊かな、心身ともにたくましい人間の育成に努める。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 普通コースに入学する生徒数が減少し、令和3年度以降は募集定員が3クラス規模（普通コース2、芸術コース1）となっている。このことは課題である一方、「一人ひとりの生徒への目配り」や「個に応じたきめ細かな指導」といった、本校の強みにも繋がっている。
- ② ほとんどの生徒が国公立・私立の四年生大学等に進学しており、芸術コースには東京藝術大学などの高い専門性が求められる大学に進学する生徒もいる。ただし、生徒には多様な学習ニーズがあるため、習熟度別授業に留まらない「学習の個別最適化」の確立が求められている。
- ③ 教職員は若手からベテランまでバランスがよく配置されており、それぞれの立場で生徒のために尽力している。一方で、分掌組織において主任層への業務集中が固定化しており、業務の平準化・効率化と次世代への引継ぎが課題である。
- ④ 令和7年度から県の「学校安全総合支援事業」が始まり、令和9年度に本校が地域の推進校となる予定である。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 協働的な学びや個別最適な学びを通して、学ぶ意欲を高め、課題を発見し、考え、解決できる力を育成する。
- ② 国際性・芸術性に富んだ校風の中、探究活動や地域と連携した取組を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。
- ③ 芸術コースを有する高校として、個に応じた実技や理論の指導を通して感性や創造力、表現力を高め、各分野で活躍・貢献する人材を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましいあり方

- ① ワークライフバランスを保ちながら、教職員一人ひとりが研究と修養に努め、それぞれの専門性や指導力等の向上に努める。
- ② 職員間で情報を適切に共有し、スクールカウンセラー等も含めた「チーム学校」の様々なセクションが組織として緩やかに連携する。
- ③ 保護者への丁寧な情報提供に努めるとともに、中学生や地域住民に向けて本校の魅力を発信する。

3 今年度の重点目標

- (1) 学習の基盤 生徒が心穏やかに学問や創作に励むことができる学習環境づくりをより一層推進する。
- (2) 学習の充実 一人一台端末の活用も含めた「個に応じた学び方」に関するガイダンスを充実させる。また、観点別学習評価を有効に活用する。
- (3) 防災教育 災害安全を核とした防災教育・ふるさと教育を充実させるとともに、学校の災害対応力を高めるための体制づくりを進める。
- (4) 働き方改革 職場の心理的安全性の確保や業務の効率化等の取組を通して、学校や教員のウェルビーイングの向上に努める。